

平成 20 年度 研究協力委員会 活動報告

平成 20 年度は 3 つの活動目標を掲げて、若手研究者交流会の立ち上げや共同研究などを柱とした活動を推進した。

<活動目標>

- (1) 大学シーズと企業ニーズの融合
- (2) 若手研究者の交流
- (3) 共同研究の推進

<活動成果>

- ・平成 20 年度広島大学日本ハム研究協力委員会を開催
- ・第 1 回若手研究者交流会を開催
- ・共同研究「食肉および動物性素材がもつ心血管疾患予防効果に関する研究」を推進
- ・共同での研究成果の発信

<活動概要>

- (1) 大学シーズと企業ニーズの融合

本年度も広島大学および日本ハムの責任者と担当者を交えたグループ討議を通じて、情報を共有化し、大学シーズと企業ニーズの融合化を推進した。

平成 20 年度「広島大学日本ハム研究協力委員会」

日時：平成 20 年 12 月 12 日（金）13：30～15：30

会場：日本ハム株式会社 中央研究所 会議室

議事次第：

- ①平成 20 年度活動内容の報告
- ②平成 20 年度共同研究内容の進捗報告
- ③日本ハム株式会社中央研究所の概要説明および見学など

- (2) 若手研究者の交流

第 1 回「若手研究者交流会」

日時：平成 20 年 10 月 16 日（木）13：00～15：00

会場：広島大学 大学院生物圏科学研究科（生物生産学部）第 2 会議室

交流内容：日本ハム㈱の研究業務を紹介した後、同若手研究員と研究科博士課程在籍生との活発な意見交換を行った。

- (3) 共同研究の推進

【研究題目】

「食肉および動物性素材がもつ心血管疾患予防効果に関する研究」

【研究担当者】

広島大学大学院生物圏科学研究科：田辺創一

日本ハム(株)中央研究所：清水宗茂、河口友美、高畑能久

(4) 研究成果の発信

学会発表および学内論文

- ① 「鶏コラーゲンペプチド (C-COP) の eNOS 活性化作用」伊東亜衣、早川徹、雑賀愛、河口友美、清水宗茂、大森丘、高畑能久、森松文毅、西村敏英、第 62 回日本栄養・食糧学会（埼玉県）講演要旨集 p.272
- ② 修士論文「鶏コラーゲンペプチドによる血管炎症抑制作用に関する研究」伊東亜衣
- ③ 卒業論文「コラーゲンペプチドの抗炎症効果に関する血管免疫学的研究」高畑知佐

(5) その他

- ※ 平成 19 年度活動報告および第 1 回若手研究者交流会の状況を研究科ホームページに掲載した。
- ※ また、日本ハム(株)中央研究所ホームページに本包括研究協定に関するページを作成した。

以上